

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋
(コード番号 3776)
問 合 せ 先 常務取締役 法務・経理統括 中川 美恵子
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

営業外費用、特別損失の計上及び 通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）決算において、下記のとおり営業外費用、特別損失の計上を行うとともに2021年12月15日に公表しました通期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用について

連結子会社 GiTV Fund I Investment,L.P.が保有する有価証券について実質価額が低下したため、個別財務諸表の営業外費用に投資事業組合運用損128百万円を計上いたしました。

2. 固定資産の減損損失について

当社が保有する固定資産について、今後の収益を予測した結果、将来において設備投資の回収が困難な見込みであるデータセンター（千代田区：第1サイト、目黒区：第3サイト、江東区：第5サイト）に係る建物、機械及び装置、工具、器具及び備品、ソフトウェアについて減損処理をし、減損損失115百万円を計上いたしました。

3. 投資有価証券評価損について

2021年12月期第3四半期連結会計期間において投資有価証券評価損680百万円を計上していましたが、第4四半期連結会計期間においても、主として連結子会社 GiTV Fund I Investment,L.P.が保有する投資有価証券のうち実質価額が著しく下落している銘柄等について減損処理を行ったことにより、通期では投資有価証券評価損計上額が1,006百万円となりました。

4. 差異が生じた理由について

(個別業績)

投資事業組合運用損を計上したことにより、経常利益、当期純利益が前回発表予想を下回りました。

(連結業績)

主に、ジャパンケーブルキャスト株式会社において 2022 年 12 月期に予定していた一部の売上げが前倒し（2021 年 12 月期）になったことにより、売上高、営業利益は前回発表予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券評価損の増加により前回発表予想を下回りました。

(1)2021 年 12 月期 通期個別業績予想値と実績値との差異（2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,300	△50	115	1.92
実績値 (B)	9,327	△199	△11	△0.19
増減額 (B-A)	27	△149	△126	
増減率	0.3%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020 年 12 月期)	9,919	425	270	4.53

(2)2021 年 12 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,400	25	420	80	1.34
実績値 (B)	15,529	53	403	△3	△0.07
増減額 (B-A)	129	28	△16	△83	
増減率	0.8%	115.2%	△3.8%	—	
(ご参考) 前期実績 (2020 年 12 月期)	16,077	524	530	342	5.73

以 上